

和泉川観測・観察

水位・水質・生物

2025年2月

東山の水辺

日	曜	時刻	水位	流速	流量	雨量	気温	水温	PH	電導率	その他(生物、透視度等)									
			cm	目視	m ³ /分	mm	°C	°C		μS	ア	オ	カ	ザ	又	その他		★ オリオン座		
1	土	17:45	0.0				6.9				干上					ドバト群15 ヒヨドリ2				
2	日	18:00	16.0			21	4.5	6.3	7.0	73						アオサギ1 メジロ2				
3	月	17:35	0.0	瀬切れ			6.2				瀬切れ				—	★ アオサギ1 メジロ2 カルガモ1				
4	火	17:50	0.0	瀬切れ			5.5				瀬切れ				—	ヒヨドリ1 メジロ1 シジュウカラ1				
5	水	17:45	0.0	瀬切れ			3.5				瀬切れ				—	★ キジバト4 ヒヨドリ1 メジロ2 シジュウカラ1				
6	木	17:50	0.0	干上がり			5.3				干上がり					(★) ヒヨドリ1 メジロ2 シジュウカラ2				
7	金	17:30	0.0	干上がり			5.6				干上がり					(★) コサギ1 ヒヨドリ1 メジロ2 シジュウカラ2				
8	土	17:45	0.0	干上がり			6.4				干上がり					★ チュウダイサギ1 ヒヨドリ1 メジロ4 ヤマガラ1 シジュウカラ2				
9	日	17:35	0.0	干上がり			6.8				干上がり					★ オオタカ1 ジョウビタキ1 メジロ2 シジュウカラ2				
10	月	18:05	0.0	干上がり			5.8				干上がり					メジロ2 シジュウカラ2				
11	火	17:50	0.0	干上がり			6.0				干上がり					★ コサギ2 ヒヨドリ1 メジロ1 シジュウカラ2				
12	水	17:55	0.0	干上がり		0	11.2				干上がり					★ ヒヨドリ1 メジロ2 シジュウカラ2				
13	木	17:55	0.0	干上がり			7.7				干上がり					★ ヒヨドリ1 メジロ1 シジュウカラ1				
14	金	17:45	0.0	干上がり			8.8				干上がり					★ コサギ1 ヒヨドリ1 キジバト1 メジロ2 シジュウカラ2				
15	土	17:40	0.0	干上がり			10.6				干上がり					コサギ3 ヒヨドリ1 キジバト1 メジロ2 シジュウカラ2				
16	日	17:50	0.0	干上がり			11.5				干上がり					ヒヨドリ1 メジロ1 シジュウカラ1				
17	月	17:45	0.0	干上がり			9.7				干上がり					ヒヨドリ1 キジバト1 メジロ1 シジュウカラ1				
18	火	17:50	0.0	干上がり			4.5				干上がり					(★) コサギ3 ツグミ1 ヒヨドリ1 シジュウカラ1				
19	水	17:50	0.0	干上がり			5.1				干上がり					(★) ツグミ1 シジュウカラ1				
20	木	17:55	0.0	干上がり			6.1				干上がり					★ ツグミ1 ヒヨドリ2 キジバト2 メジロ2 シジュウカラ2				
21	金	17:50	0.0	干上がり			6.2				干上がり					★ イエネズミ1 ツグミ1 ヒヨドリ1 メジロ2 シジュウカラ2				
22	土	17:50	0.0	干上がり		0	4.7				干上がり					小雪・雨 アライグマ1 キジバト1 メジロ1 シジュウカラ1				
23	日	18:10	0.0	干上がり			5.5				干上がり					アライグマ1 キジバト1 メジロ1 シジュウカラ1				
24	月	18:50	0.0	干上がり			6.7				干上がり					(★) アライグマ1 キジバト1 シジュウカラ2				
25	火	19:10	0.0	干上がり			9.3				干上がり					(★) イエネズミ1 キジバト1 ヒヨドリ1 シジュウカラ1				
26	水	17:55	0.0	干上がり			12.6				干上がり					ヒヨドリ1 シジュウカラ1				
27	木	17:55	0.0	干上がり			10.8				干上がり					(★) ツグミ1 ヒヨドリ1 シジュウカラ2				
28	金	18:00	0.0	干上がり			12.7				干上がり					★ キジバト6 シジュウカラ1				
計			0.6	良0		21	7.4	6.3	7.0	73	0	0	0	0	0					

特記事項

嘗てない「干上がり」が先月より続いている。強い風の日には川底から埃が立っている。まるで砂漠のよう。地球規模で異常気象が続いており、ここ和泉川でもそれを実感させられる。源流域でも水路の流れは途絶え僅かに水溜りが点在するのみである。いつになったら流れが復活するのだろうか。その後の生態系・生物多様性の復活はどのようになるのか大変危惧される。ミニミニ水族館はアライグマにより多くの水生生物がやられてしまった。穏やかで多くの生き物が活動する春が来て欲しい。